

〈解答〉

- ① (1) 2      (2)  $a = -1, b = 4$  (両解)      (3)  $y = 2x + 4$   
 ② (1)  $144\pi \text{ cm}^3$       (2) 4 cm      (3)  $36\pi \text{ cm}^2$

配点 各2点 12点満点

〈解説〉

- ① (1) 点Aは関数㉞のグラフ上の点なので、関数㉞の式である  $y = \frac{1}{2}x^2$  に  $x = -4$  (点Aの  $x$  座標) を代入して、

$$\begin{aligned} y &= \frac{1}{2} \times (-4)^2 \\ &= 8 \end{aligned}$$

点Aと点Bの  $y$  座標の比が  $4 : 1$  なので、点Bの  $y$  座標は

$$8 \times \frac{1}{4} = 2$$

である。なお、点Bも関数㉞のグラフ上の点なので、関数㉞の式である  $y = \frac{1}{2}x^2$  に  $y = 2$  (点Bの  $y$  座標) を代入すると、

$$2 = \frac{1}{2}x^2$$

$x > 0$  なので、

$$x = 2$$

よって、点Bの座標は  $(2, 2)$  である。

- (2) 点Aは関数㉟のグラフ上の点なので、関数㉟の式である  $y = ax + b$  に点Aの座標より  $x = -4, y = 8$  を代入すると、

$$8 = -4a + b \quad \cdots \text{①}$$

点Bも関数㉟のグラフ上の点なので、関数㉟の式である  $y = ax + b$  に点Bの座標より  $x = 2, y = 2$  を代入すると、

$$2 = 2a + b \quad \cdots \text{②}$$

①, ②を連立方程式として解くと、

$$a = -1, b = 4$$

以上より、関数㉟の式は

$$y = -x + 4$$

- (3)  $C(0, 4)$  より  $OC = 4$  なので、これを  $\triangle OAC, \triangle OBC$  の底辺とすると、  
 $A(-4, 8), B(2, 2)$  より、 $\triangle OAC$  の高さは  $4$  ,  $\triangle OBC$  の高さは  $2$  となる。よって、

$$\triangle OAB = \triangle OAC + \triangle OBC$$

$$= \frac{1}{2} \times 4 \times 4 + \frac{1}{2} \times 4 \times 2$$

$$= 12$$

点Cを通る直線とOAの交点を点Pとすると、

$$\triangle PAC = \triangle OAB \div 2$$

$$= 12 \div 2$$

$$= 6$$

となるので、

$$\triangle OPC = \triangle OAC - \triangle PAC$$

$$= 8 - 6$$

$$= 2$$

になる。 $\triangle OPC$ の底辺をOCとしたときの高さを $h$ とすると、

$$\frac{1}{2} \times 4 \times h = 2$$

これを解いて、

$$h = 1$$

より、点Pの $x$ 座標は $-1$ である。よって、線分OAの式 $y = -2x$ に $x = -1$ を代入して、

$$y = -2 \times (-1)$$

$$= 2$$

点P、Cを通る直線の式を $y = mx + 4$ とおき、 $x = -1$ 、 $y = 2$ を代入して、

$$2 = -m + 4$$

これを解いて、

$$m = 2$$

以上より、求める直線の式は

$$y = 2x + 4$$

- ② (1) 図1の容器は半径6 cmの半球なので、その容積は

$$\frac{4}{3} \pi \times 6^3 \times \frac{1}{2} = 144 \pi \text{ [cm}^3\text{]}$$

- (2) 図2の容器の底面は半径6 cmの円なので、(1)で求めた $144 \pi \text{ cm}^3$ の水を入れたときの高さを $h \text{ cm}$ とすると、

$$\pi \times 6^2 \times h = 144 \pi$$

という方程式が成り立つ。これを解いて、

$$h = 4 \text{ [cm]}$$

- (3) 平面OAB、OACは、半径6 cm、中心角 $90^\circ$ のおうぎ形なので、その面積は

$$\pi \times 6^2 \times \frac{90^\circ}{360^\circ} = 9 \pi \text{ [cm}^2\text{]}$$

平面OBCは、半径6 cm、中心角 $60^\circ$ のおうぎ形なので、その面積は

$$\pi \times 6^2 \times \frac{60^\circ}{360^\circ} = 6\pi \text{ [cm}^2\text{]}$$

また曲面ABCは、半径 6 cmの球の表面積の

$$\frac{1}{2} \times \frac{60^\circ}{360^\circ} = \frac{1}{12}$$

にあたるので、その面積は

$$4\pi \times 6^2 \times \frac{1}{12} = 12\pi \text{ [cm}^2\text{]}$$

以上より、図3の立体の表面積は

$$9\pi \times 2 + 6\pi + 12\pi = 36\pi \text{ [cm}^2\text{]}$$